

04.ロンドン・アイ



ロンドン・アイはワイヤーテンションで支えられた巨大な観覧車である。設計者はデイヴィッド・マークスとジュリア・バーフィールドである。ミレニアム・プロジェクトの1つとして建設された。

第一印象はデザインの美しさというより、構造的な美を感じた。観覧車が建築物かどうかは判断しかねるが、建築物以外の橋や線路に代表される土木構築物にもかなり優れた作品があると感じられた。

ところで、所見ではこの不合理にさえ感じられていたロンドン・アイの引張構造だったが、次第にロンドンらしく思えるようになってきた。

ハイテク建築は堂々とブレースによる引張を表現しているし、ミレニアム・ドームやミレニアム・ブリッジも同じ引張材である。

これはロンドンの建築家達が重い屋根や床からの脱却、あるいはローマやギリシャ様式からの離脱を必死に求めている様にも感じられる。

1周30分のカプセルの中でこうした引張構造が多いのは、アラップのお膝元だからか、あるいは時代を「引っ張る」というメッセージなのかと思考にふける時間を頂いた。

繁田 尊友